

別 海 町 議 会 会 議 録

第 3 号 (平成 22 年 9 月 17 日)

議事日程

日程第 1
日程第 2

会議録署名議員の指名

各議案・討論・採決

平成 22 年度別海町一般会計補正予算 (第 2 号)
(町長提出議案第 67 号)

平成 22 年度別海町老人保健特別会計補正予算 (第 1 号)
(町長提出議案第 68 号)

平成 22 年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算 (第 1 号)
(町長提出議案第 69 号)

平成 22 年度別海町介護保険特別会計補正予算 (第 1 号)
(町長提出議案第 70 号)

平成 22 年度別海町病院事業会計補正予算 (第 1 号)
(町長提出議案第 71 号)

あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更 (編入) について (町長提出議案第 72 号)

土地改良事業の施行について
(町長提出議案第 73 号)

工事請負契約の締結について
(町長提出議案第 74 号 / 中央児童館建設主体工事)

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
(町長提出議案第 75 号)

人権擁護委員候補者の推薦について
(町長提出諮問第 2 号)

人権擁護委員候補者の推薦について
(町長提出諮問第 3 号)

別海町固定資産評価審査委員会委員の選任について
(町長提出同意第 4 号)

別海町固定資産評価審査委員会委員の選任について
(町長提出同意第 5 号)

別海町固定資産評価審査委員会委員の選任について
(町長提出同意第 6 号)

日程第 3 発議第 11 号 北海道の自衛隊体制維持を求める意見書について

日程第 4 発議第 12 号 地方財政の充実・強化を求める意見書について

日程第 5 発議第 13 号 一般国道の維持管理の充実を求める意見書について

日程第 6	発議第 14 号	森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書について
日程第 7	発委第 5 号	道路の整備に関する意見書について
日程第 8	発委第 6 号	口蹄疫など家畜の感染症に対する備えを万全にするよう求める意見書について
日程第 9		議員派遣の件
日程第 10		委員会開催の承認について

会議に付した事件

日程第 1		会議録署名議員の指名
日程第 2		各議案・討論・採決
		平成 22 年度別海町一般会計補正予算（第 2 号） （町長提出議案第 67 号）
		平成 22 年度別海町老人保健特別会計補正予算（第 1 号） （町長提出議案第 68 号）
		平成 22 年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算（第 1 号） （町長提出議案第 69 号）
		平成 22 年度別海町介護保険特別会計補正予算（第 1 号） （町長提出議案第 70 号）
		平成 22 年度別海町病院事業会計補正予算（第 1 号） （町長提出議案第 71 号）
		あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更（編入）について（町長提出議案第 72 号）
		土地改良事業の施行について （町長提出議案第 73 号）
		工事請負契約の締結について （町長提出議案第 74 号 / 中央児童館建設主体工事）
		辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について （町長提出議案第 75 号）
		人権擁護委員候補者の推薦について （町長提出諮問第 2 号）
		人権擁護委員候補者の推薦について （町長提出諮問第 3 号）
		別海町固定資産評価審査委員会委員の選任について （町長提出同意第 4 号）
		別海町固定資産評価審査委員会委員の選任について （町長提出同意第 5 号）
		別海町固定資産評価審査委員会委員の選任について （町長提出同意第 6 号）
追加日程第 1	同意第 7 号	別海町教育委員会委員の任命について
日程第 3	発議第 11 号	北海道の自衛隊体制維持を求める意見書について
日程第 4	発議第 12 号	地方財政の充実・強化を求める意見書について

- 日程第 5 発議第 13 号 一般国道の維持管理の充実を求める意見書について
 日程第 6 発議第 14 号 森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書について
 日程第 7 発委第 5 号 道路の整備に関する意見書について
 日程第 8 発委第 6 号 口蹄疫など家畜の感染症に対する備えを万全にするよう求める意見書について
 日程第 9 議員派遣の件
 日程第 10 委員会開催の承認について

出席議員（17名）

1 番	西 原 浩	2 番	沓 澤 昌 廣
3 番	福 原 春 夫	4 番	安 部 政 博
5 番	瀧 川 榮 子	6 番	山 田 信
7 番	丹 羽 勝 夫	8 番	松 原 政 勝
9 番	戸 田 博 義	11 番	中 村 忠 士
12 番	佐 藤 初 雄	13 番	池 田 幸 雄
14 番	安 田 輝 男	15 番	山 崎 賢 一
16 番	佐々木 春 男	副議長	17 番 横 堀 昭 康
議長	18 番 渡 邊 政 吉		

欠席議員（1名）

10 番 戸 田 憲 悦

出席説明員

町 長	水 沼 猛	副 町 長	磯 田 俊 夫
教 育 長	山 口 長 伸	総 務 部 長	小 守 正
福 祉 部 長	田 村 秀 男	産 業 振 興 部 長	飯 島 孝 二
建 設 水 道 部 長	田 中 忠 敏	教 育 部 長	根 本 幸 三
監 査 委 員 事 務 局 長	半 田 雅 代	農 委 事 務 局 長	森 本 哲 男
病 院 事 務 長	真 籠 毅	会 計 管 理 者	上 月 昭 彦
総 務 部 次 長	有 田 博 喜	福 祉 部 次 長	笠 原 悦 雄
福 祉 部 次 長	守 川 昇	福 祉 部 次 長	松 本 光 永
産 業 振 興 部 次 長	土 井 一 典	建 設 水 道 部 次 長	大 島 登
総 務 課 長	宮 部 正 好	総 合 政 策 課 長	有 田 博 喜
総 務 課 参 事	佐 藤 則 夫	財 政 課 長	竹 中 仁
税 務 課 長	干 場 俊 昭	福 祉 課 長	松 本 光 永
福 祉 部 付 課 長	松 壽 和 広	町 民 課 長	斎 藤 英 彦
福 祉 課 参 事	清 水 純 夫	保 健 課 長	佐 藤 秀 明
特 老 施 設 長	村 井 勉	デイサービスセンター長	中 澤 信 明
老 健 事 務 長	清 尾 昌 弘	農 政 課 長	山 崎 茂
環 境 特 別 推 進 室 長	佐 藤 康 男	水 産 み ど り 課 長	藤 原 繁 光
商 工 観 光 課 長	岡 田 一 芳	管 理 課 長	木 村 功 男

事業課長 天田 豊
上下水道課長 永野 寛昭
病院事務課長 佐藤 一彦
学務課参事 今井 道春
図書館長 中川 浩

事業課技術長 山岸 英一
(病院建設準備室長)

出納室長 相山 一晴
学務課長 佐藤 英敏
生涯学習課長 下地 哲

議会事務局出席職員

事務局長 佐藤 次春

主 幹 山田 一志

会議録署名議員

1 1 番 中村 忠士

1 3 番 池田 幸雄

1 2 番 佐藤 初雄

開議宣告

議長（渡邊政吉君） ただいまから、第4日目の会議を開きます。

ただいま出席している議員は17名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

なお、欠席議員は、10番戸田憲悦議員でございます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（渡邊政吉君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、議長において指名いたします。

11番中村議員、12番佐藤議員、13番池田議員、以上3名を指名いたします。

日程第2 各議案・討論・採決

議長（渡邊政吉君） 日程第2 各議案の討論・採決を行います。

初めに、議案第67号平成22年度別海町一般会計補正予算の討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第67号は、原案のとおり可決されました。

議案第68号平成22年度別海町老人保健特別会計補正予算の討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第68号は、原案のとおり可決されました。

議案第69号平成22年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算の討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第69号は、原案のとおり可決されました。

議案第70号平成22年度別海町介護保険特別会計補正予算の討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第70号は、原案のとおり可決されました。

議案第71号平成22年度町立別海病院事業会計補正予算の討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第71号は、原案のとおり可決されました。

議案第72号あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更(編入)についての討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第72号は、原案のとおり可決されました。

議案第73号土地改良事業の施行についての討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第73号は、原案のとおり可決されました。

議案第74号工事請負契約の締結について、中央児童館建設建築主体工事の討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第74号は、原案のとおり可決されました。

議案第75号辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更についての討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第75号は、原案のとおり可決されました。

次に、諮問第2号人権擁護委員候補者の推薦についての討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、諮問のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、諮問第2号は、諮問のとおり決定されました。

諮問第3号人権擁護委員候補者の推薦についての討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、諮問のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、諮問第3号は、諮問のとおり決定されました。

次に、同意第4号別海町固定資産評価審査委員会委員の選任についての討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり同意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、同意第4号は、原案のとおり同意することに決定いたしました。

次に、同意第5号別海町固定資産評価審査委員会委員の選任についての討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本件は、原案のとおり同意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、同意第5号は、原案のとおり同意することに決定いたしました。

同意第6号別海町固定資産評価審査委員会委員の選任についての討論に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本件は、原案のとおり同意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、同意第6号は、原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程追加の議決

議長(渡邊政吉君) お諮りをいたします。

町長から、同意第7号別海町教育委員会委員の任命についてが提出されました。この際、これを日程に追加し、追加日程第1として議題にしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、同意第7号を日程に追加し、追加日程第1として議題とすることに決定いたしました。

追加日程第1 同意第7号

議長(渡邊政吉君) 追加日程第1 同意第7号別海町教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

町長。

町長(水沼 猛君) 同意第7号別海町教育委員会委員の任命について、御説明を申し上げます。

本案件につきましては、別海町教育委員会委員の任命について、議会の同意を求めるものでございます。

現在の教育委員会委員につきましては、委員長であります中西別の今西和雄さん、委員長職務代理者であります、西春別の岡田正子さん、委員の別海の木村江里さん、尾岱沼の伊勢浩子さんと山口教育長の5名の方をお願いをいたしているところでございますが、そのうちのお一人でございます、委員長職務代理者であります岡田正子さんが、本年10月11日で4年間の任期が満了となりまして、今期限りで退任されることとなりましたので、新たに田中博行さんに教育委員をお願いしたいと考えているところであります。

なお、任期につきましては、平成22年10月12日から平成26年10月11日までの4年間でございます。

田中さんの主な経歴につきまして、若干申し上げさせていただきますが、田中さんは別海町泉川54番地の3にお住まいで、昭和35年4月22日生まれの満50歳でございます。昭和54年に高等学校を卒業後、実家の酪農に従事しておりましたが、平成8年からは経営移譲を受け、酪農の経営をされてきております。

公職歴につきましては、平成17年から現在まで、西春別農業協同組合、現在の道東あさひ農業協同組合の理事を歴任され、また、平成21年から、西春別乳牛検定組合の組合長をされております。また、平成14年から17年まで、光進小中学校のPTA会長もな

さっております。

地域の人望も厚く、人格、識見ともに立派な方でございますので、教育委員会委員に任命をいたしたく、議会の皆さんの御同意を賜りたいと思う次第でございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたしますと思います。

議長（渡邊政吉君） 同意第7号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。討論ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本件は、原案のとおり同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、同意第7号は、原案のとおり同意することに決定いたしました。

ここで、お諮りいたします。

日程第3 発議第11号から、日程第6 発議第14号までの4件については、会議規則第39条第3項の規定に基づき、委員会の付託は省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、日程第3 発議第11号から、日程第6 発議第14号までの4件については、委員会の付託は省略することに決定いたしました。

日程第3 発議第11号

議長（渡邊政吉君） 日程第3 発議第11号北海道の自衛隊体制維持を求める意見書についてを議題といたします。

内容について、説明を求めます。

12番佐藤議員。

12番（佐藤初雄君） それでは、意見書提案に当たりまして、北海道の自衛隊体制維持を求める意見書の内容について御説明を申し上げます。

北海道は、自衛隊創設当初から、我が国の防衛戦略上、重要な地として位置づけられ、陸上自衛隊の第一線部隊が配備され、北方の国土防衛はもとより、広大な地域での多発する災害等への対応、地域の安全と安心等、大きく貢献されております。

本町においても、陸上自衛隊別海駐屯地及び国内最大規模の矢臼別演習場を有する自治体とし、国の防衛を担う自衛隊と共存共栄しながら、長年にわたりまちづくりを行ってきた経過があります。

とりわけ、地震や風水害等の災害時には、迅速な救援派遣体制がなされ、地域住民の安全・安心の確保に多大な貢献をされていることは、皆さんも御承知のとおりであります。さらには、自衛隊員並びに御家族を含め、地域のイベントや交流にも積極的に参加協力が

あり、地域の活性化はもとより、地域経済への波及効果ははかり知れません。

こうした状況は、我が町に限ったことではありません。しかしながら、近年、第5第11師団が旅団化され、縮小と定員の削減が行われております。さらには、国は防衛計画大綱の見直しと次期中期防衛力整備計画の策定が行われると承知しております。今後、自衛隊の定数削減、駐屯地基地等の統廃合等が行われることが懸念されるところであり、防衛戦略上、地域の安全・安心及び人口減によるまちづくり等、地域社会に及ぼす影響も大きく、極めて遺憾であります。

このようなことから、防衛大綱の見直し及び次期中期防衛力整備計画の策定に際し、地域の意向が十分に反映され、自衛隊の体制が確立して維持される必要がある状況であり、このような状況を踏まえ、本意見書を提案するものであります。

内容につきましては、意見書の朗読をもってかえさせていただきます。

発議第11号北海道の自衛隊体制維持を求める意見書。

上記の議案を、別紙のとおり別海町議会会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出します。

平成22年9月17日。

別海町議会議長渡邊政吉殿。

提出者、別海町議会議員佐藤初雄。

賛成者、同池田幸雄、同戸田博義、同丹羽勝夫。

北海道の自衛隊体制維持を求める意見書。

北海道には、北方防衛を任務とする陸上自衛隊の第一線部隊が配備され、国土防衛はもとより、災害発生時の救援・救難活動や救急患者の搬送など、道民の安全と安心の確保に大きな役割を果たしてきたところである。しかしながら、近年において、第5及び第11師団が旅団化されるなど、陸上自衛隊の縮小と定員の削減が行われてきたことは、地域の安全と安定、さらには、地域経済や地域社会に大きな影響を与えたところである。

国においては、現防衛計画の大綱の見直しと、これに基づく次期中期防衛力整備計画の策定を本年度末に行うべく準備を進めているが、今後さらに本道における自衛隊員の大幅な削減が行われた場合には、我が国の防衛上の問題はもとより、災害発生時の派遣や地域経済への影響など、道民生活にはかり知れない影響を及ぼすことが懸念される。

本道においては、長年にわたり自衛隊への理解醸成に努めてきたところであり、昨年8月の民間有識者による安全保障と防衛力に関する懇談会報告書においては、災害派遣や民生協力は自衛隊の重要な任務であることや、自衛隊に対する国民の理解や支持、地域住民の協力は、防衛力を構成する重要な要素である旨記載されている。

よって、国においては、防衛大綱の見直し及び次期中期防衛力整備計画の策定に際し、地域の意向を十分に配慮され、本道における自衛隊の体制が確実に維持されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成22年9月17日。

北海道野付郡別海町議会議長渡邊政吉。

意見書提出先、衆参両議院議長、内閣総理大臣、防衛大臣、以上であります。

御審議の上、議員各位の御賛同を賜り、速やかに御決定賜りますようお願い申し上げます。

議長（渡邊政吉君） 発議第11号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行い

ます。

質疑に入ります。

１１番中村議員。

１１番（中村忠士君） 今、提案された内容について、若干質問をしたいと思います。自衛隊の体制維持を求めると、こういうふうになっています。軍備に関する装備品等についても、その維持を求めるという内容であるかどうか、その点の確認をしたいと思います。

議長（渡邊政吉君） 佐藤議員。

１２番（佐藤初雄君） 今、中村議員からの御質問で、軍備という言葉が使われましたけれども、私たちは国土を防衛するという、あくまでも文言のとおり自衛隊と、あくまでも自衛を任務とするというようなことでございます。

議長（渡邊政吉君） 中村議員。

１１番（中村忠士君） 自衛であるとか、そういうことについての内容を聞いているわけではなくて、現在持っている自衛隊の装備品、さまざまな批判もあるわけですが、そういうものも含めてそれを維持すると、こういう内容であるかどうかを聞いています。

議長（渡邊政吉君） それでは、もう一度、佐藤議員。

１２番（佐藤初雄君） 現状を維持するということでありまして、当然、今の現状を維持するということでありまして、先ほどから申しますように、自衛隊は地域とともに、自治体とともに共存・共栄が図られているということでありまして、それも含めてでございます。必ずしも自衛隊の、今、中村議員がおっしゃられました、軍備というだけではございません。

議長（渡邊政吉君） 佐藤議員に確認します。

中村議員の質問は、今の軍装備に拡張について言っているかということでございます。

中村議員、よろしいですか。

１１番（中村忠士君） 多少、あいまいなので、これは非常に重要なことですので確認をしたいと思いますが、今の回答では、装備品も含めて維持を求めていくというふうにおっしゃったようですから、そういうことなのだなというふうに理解をしました。

議長（渡邊政吉君） ほかに、御質問ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、これで質疑を終わります。

これから討論に入ります。

それでは、最初に反対の討論を受けたいと思います。

１１番中村議員。

１１番（中村忠士君） 反対の立場で討論いたします。

最初に、自衛隊に対する私の基本的考えを、まず述べたいと思います。

自衛隊は、日本国民は、国権の発動たる戦争と武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。千古の目的を達するため、陸、海、空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めないと定める日本国憲法９条に違反する存在です。

しかし、私は、国民感情等を勘案すると、直ちに自衛隊を解散すべきだとか、解散できるとは考えていません。今やるべきことは、自衛隊の体制そのものを自然災害などの対応

能力整備の方向へ転換すること並びに軍事部門を縮小の方向に向かわせることだと思っています。

軍事部門の縮小を提案するには、二つの理由があります。第1は、人類は、第2次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争、中東戦争、とりわけ最近のイラクアフガン戦争を通して、武力は紛争を解決しないしできない。武力は、憎しみの連鎖を生み出し、より問題を深刻化させるという認識に至りました。今や世界は、軍事同盟の解体、平和的連携の拡大、軍事縮小の方向に明確に動き出しています。その中にあって、唯一の被爆国であり、平和憲法を持つ日本は、軍縮の流れの先頭に立って、リーダ的役割を果たすべきだということでもあります。

第2に、行き詰まる日本の経済財政を立ち直らせるためには、一切、聖域をつくらず、あらゆる無駄を省く必要が叫ばれています。その一つが軍事費です。民主党政権下にあっても、なぜか仕分けされずに聖域となっているのが、年間5兆円の軍事費です。この精査縮小に取り組むべきだということでもあります。軍事費削減によって生まれた財源を、雇用対策や中小企業振興、さらに、地方経済復興のために活用すべきだというのが私の提案であります。

欧米主要先進国は、経済財政再建の観点からも、軍事費削減の道を歩み出しています。繰り返しますが、私は、自衛隊の即時解散を唱えるものではありません。しかし、災害対策などの平和的側面の充実、そして、その一方で、軍事部門縮小の必要性を強調したいわけであります。軍事部門縮小の必要性は、戦争による多大な犠牲の上に私たちが到達した認識であり、最大限の努力を持ってその推進を図るべきであります。

以上の観点から、自衛隊の体制が確実に維持されることを強く要請とする当意見書には、反対する立場を表明するものであります。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 次に、原案に賛成する者の発言を許しますが、どなたかございますか。

14番安田議員。

14番（安田輝男君） 討論というのは、意見を戦わせるというふうに私は解釈しております。しかし、反対討論に対して、それを否定するわけではない。ただ、意見の相違として私は申し上げたいと思います。

今、提案者から出ました。どうして国会議員が質問するような、これからちょっと外れているのではないかなということを、まず一つ申し上げたい。内閣総理大臣、防衛大臣が相手国と話をするようなことを、軽視するわけではないですよ、地方議会でもって、こういう大きな問題を出すのか。というのは、選挙でもって、道議会議員、国会議員、その中で論争しているわけです。この本題から外れているのではないかというぐあいに私は思います。趣旨としてはいいかもしれない。この場で、地方議員がそういう深いことを、どういうようにして回答するのですか。まず、それを申し上げたい。

先ほど言われた、戦争があるとかそんなのわかっているのです、思っています。あくまでも国際情勢とか、いろいろな面で私は動いていると思います。それに対して意見を言うのだったら、やはり私らは、選挙なり何なりでやるべきだと。決して否定するわけではないですよ。しかし、反対者の意見を一口でまとめるならば、自衛隊が今あるということは認めるけれども、自衛隊については反対だというように、私は一口で言っております。そうであるならば、いろいろな問題が生じようとも私は、自衛隊に対して反対だという言葉

が欲しいなというぐあいに思います。

西春別駅前に、駐屯地が40年からここに在駐しております。その中で、まちづくりは人づくり、人づくりはまちづくりと、こういう時代がどういうぐあいに変わっても、私は変わらないというぐあいに思います。

ちょっと時間がかかりますけれども、駅前の学校問題を取り上げたいと思います。上西春別小学校、現在171名です。その中で、自衛隊が40名、子供さん。中学校においては、80名のうち4名しかいないのです。というのは、若い隊員なのです。地元の人が、動かない人方です。ここに中学校なんかで行っている関係だと私は思います。幼稚園に関しては、上西春別幼稚園、35人中20名、57%です。保育所、上西春別保育所は、63名中3名、しかし、西春別保育所、50人中19人、38%を占めております。これを合計すると67名、約70名近くの人なのです。これを小学校1年から6年までにすると、小学校1、2年、あるいは5年、6年の人員がすぼんといなくなるぐらいの人員になっているわけです。皆さん、どういうふうに考えるわけですか。

そういうことを考えて、私は、現状維持でもって、任務として、地震が起きたときには出るなんて、これは当たり前のことなのです。貢献するのが。それにもう一つ、お祭りといったいろいろな問題点があるかもしれないけれども、盛り上がるという点で、お祭りにしても、みこし、35名から40名、若い駐屯地の中の人をお願いしているのです。そういうことをやらなければ成り立たないのです。七個の町内会のうち、一番大きい町内会です。今、反対と申し上げられた、中村議員も駅前のことはよく御存じだと思います。そういう地域の実情を大きな論点ではわからないのです。そういうことを切実に提出者が考えて、これを出していただいたものだろうと。そういうところを、よく御理解をいただきたいと思うのです。

国の防衛とか何かは、大きな人に任せていいと思うのですよ。そのときの意見を反映するのが投票だと私はそういうふうに思います。自衛隊という言葉に対して、反対者は、自衛隊を認めないとある事実を認めるなんて、そんな理由にならないという思いです。以上をもって、私は賛成です。強くこの件については賛成するものです。

以上です。

議長（渡邊政吉君） ほかに、討論ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、以上で討論を終わります。

これから、採決をいたします。

本件については、起立により採決をいたします。

本案を、原案のとおり決定することに賛成する議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（渡邊政吉君） 起立多数であります。

したがって、発議第11号は、原案のとおり可決されました。

日程第4 発議第12号

議長（渡邊政吉君） 次に、日程第4 発議第12号地方財政の充実・強化を求める意見書についてを議題といたします。

内容について、説明を求めます。

9 番戸田博義議員。

9番（戸田博義君） 地方財政の充実・強化を求める意見書の内容について、御説明申し上げます。

日本の経済状況は、言うまでもなく、円高による日本政府の為替介入など深刻な状況にあります。地域の安心・安全の実現には、地方自治体の役割はますます重要であると言えます。

本町においては、とりわけ基幹産業である農林水産業の振興を初め、介護・福祉施策の充実など、地域経済の活性化と雇用対策に結びつく、これらの政策分野の充実・強化が重要な課題と言えます。

本年度予算においては、地方交付税が微増するなど、ある程度評価できるものでありますが、来年度予算においても、引き続き地方財政予算全体の安定確保に向けて、本意見書を提案するものであります。

内容につきましては、意見書の朗読をもってかえさせていただきます。

発議第12号地方財政の充実・強化を求める意見書。

上記の議案を、別紙のとおり別海町議会会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出いたします。

平成22年9月17日。

別海町議会議長渡邊政吉殿。

提出者、別海町議会議員戸田博義。

賛成者、同池田幸雄、同佐藤初雄、同安田輝男。

地方財政の充実・強化を求める意見書。

世界同時不況に端を発した経済状況は、深刻の度を増しており、地域の雇用確保、社会保障の充実など、地方自治体が果たす役割はますます重要となっている。特に、地域経済の雇用対策の活性化が求められる中で、介護・福祉施策の充実、農林水産業の振興、クリーンエネルギーの開発など、雇用確保と結びつけ、これらの政策分野の充実・強化が求められている。

2010年度予算において、地方交付税が前年度比1.1兆円増加されたことは、三位一体の改革で深刻な影響を受けた地方財政に対し、政府が地方交付税の充実という地方の要望にこたえたものとして、一定の評価ができるものであり、来年度予算においても引き続き財政計画・地方交付税措置の一層の充実・確保に向けた大胆な予算措置が必要である。

よって、国においては、2011年度地方財政予算全体の安定確保に向けて、次の事項について取り組むよう強く要望する。

記。

1、医療、福祉分野の人材確保を初めとするセーフティネット対策の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2011年度地方財政計画・地方交付税総額の規模を拡大すること。

2、地方財源の充実・強化を図るため、国・地方の税収配分の5対5を実現する税源移譲と格差是正のための地方交付税確保、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的な対策を進めること。

3、2010年度予算において創設された地域活性化・雇用等臨時特例費など、地方財政計画・地方交付税措置により一層の充実を図り、自治体が安心して雇用対策等に取り組めるような環境整備を行うこと。

4、住民の安全・安心を実現する社会資本の整備に関しては、地方負担を増加することのないよう、交付金などの十分な財政措置を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年9月17日。

北海道野付郡別海町議会議長渡邊政吉。

意見書提出先、衆参両議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済財政政策担当大臣、以上であります。

御審議の上、議員各位の御賛同を賜り、速やかに御決定賜りますようお願い申し上げます。

議長（渡邊政吉君） 発議第12号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、発議第12号は、原案のとおり可決されました。

日程第5 発議第13号

議長（渡邊政吉君） 日程第5 発議第13号一般国道の維持管理の充実を求める意見書についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

7番丹羽議員。

7番（丹羽勝夫君） 一般国道の維持管理の充実を求める意見書の内容について、御説明申し上げます。

広大な面積に集落が点在する本町では、生活の大半を自動車交通に依存しており、道路は町民の生活や経済・社会活動を支える最も重要な社会基盤であります。特に、国道272号と243号及び244号線は、道道根室中標津線とともに圏域間の地域経済の活性化はもとより、町民の命にかかわる救急搬送や災害対応など、安全で安心な地域の生活を確保する上でも最も重要な役割を担っています。

しかし、本年度の国の予算では、一般国道の維持管理の予算が大幅に削減され、物流、観光などの経済活動や冬期間の安全・安心な交通の確保に対する影響も危惧されることから、地域の実情に十分配慮するような本意見書を提案するものであります。

内容につきましては、意見書の朗読をもってかえさせていただきます。

発議第13号一般国道の維持管理の充実を求める意見書。

上記の議案を、別紙のとおり別海町議会会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出します。

平成22年9月17日。

別海町議会議長渡邊政吉殿。

提出者、別海町議会議員丹羽勝夫。

賛成者、同池田幸雄、同佐藤初夫、同安田輝男。

一般国道の維持管理の充実を求める意見書。

広大な面積に179の市町村が点在する本道は、広域分散型社会を形成しており、人の移動や物資の輸送の大半を自動車交通に依存していることから、道路は道民生活や経済・社会活動を支える最も重要な社会基盤である。中でも、一般国道は、高規格幹線道路とともに圏域間の交流・連携の強化による地域経済の活性化はもとより、道民の命にかかわる救急搬送や災害対応といった安全で安心な道民の生活を確保する上でも重要な役割を担っている。

しかしながら、国の本年度予算においては、一般国道の維持管理のための予算が大幅に削減されており、草刈りや清掃などの回数の減少により、安全・安心な通行の確保に支障を来すばかりでなく、物流や観光などの経済活動や道民生活に対する影響も危惧されているところである。

よって、国においては、地域の実情を十分に踏まえ、既存道路の維持管理等の重要性を再認識され、次の事項について十分配慮するよう強く要望する。

記。

1、安全・安心な道路通行のため、橋梁や舗装等の修繕に必要な予算を確保し、適切な維持管理を着実に実施すること。

2、積雪寒冷地などの地域特性を踏まえ、適切な除排雪に必要な予算を確保し、冬期における安全で安心な通行を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年9月17日。

北海道野付郡別海町議会議長渡邊政吉。

意見書提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、以上であります。

御審議の上、議員各位の御賛同を賜り、速やかに御決定賜りますようお願い申し上げます。

議長（渡邊政吉君） 発議第13号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、発議第13号は、原案のとおり可決されました。

日程第 6 発議第 1 4 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 6 発議第 1 4 号森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書についてを議題といたします。

内容について、説明を求めます。

1 7 番横堀議員。

1 7 番（横堀昭康君） この意見書の提出については、さきに地方議連の中司哲雄会長からと、9 月 2 日に道の林活議連の加藤唯勝会長からも、同じような内容の意見書が提出依頼のあったところであります。

産業常任委員会の所管でございますが、協議された結果、議員全員が所属する林活議連、正式には根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会でございますが、そこより、提出したほうが内容からもよいのではないかということになった次第でございます。

くしくも、私が根室地方林活議連の役員をしておりますので、この提出の代表者となるのがいいだろうということになりましたので、どうか御了解いただきたいというふうに思っています。

近年、エコロジー社会の推進が叫ばれ、また、地球温暖化の関心が高まり、その解決策として、従来の国土の保全や水源の涵養などの役割とともに、森林に対する関心、あるいは重要性が見直されてきたところでございます。また、森林は、美しい国土を形成する大事な資源でもあり、観光などにも寄与するかけがえのないものでもございます。

しかし、林業に携わる環境は極めて厳しく、生産性は上がり、木材の価格も低迷し、林業や木材産業は危機的状況にあります。加えて、担い手も不足し、山村は崩壊の危機に立たされております。

こうした状況を踏まえて、今後、森林整備を着実に推進し、森林・林業・木材産業の活性化が図られますように、この本意見書を提出するものでございます。

内容については、意見書の朗読をもって説明にかえさせていただきます。

発議第 1 4 号森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書。

上記の議案は、別紙のとおり別海町議会会議規則第 1 4 条第 1 項及び第 2 項の規定により提出します。

平成 2 2 年 9 月 1 7 日。

別海町議会議長渡邊政吉殿。

提出者、別海町議会議員横堀昭康。

賛成者、同福原春夫、同佐々木春男、同中村忠土、同山田信、同西原浩。

森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書。

近年、森林に対する国民の期待は、地球温暖化の防止、国土の保全や水源の涵養はもとより、生物多様性の保全への貢献など多様化するとともに、低炭素社会づくりを進めるため、木質エネルギー利用を含め、木材利用の拡大に対する期待も増大している。しかしながら、国内の林業は、路網整備や森林施業の集約化のおくれなどから、生産性が低く、材価も低迷する中、森林所有者の施業放棄が懸念されるなど、我が国の林業・木材産業は危機的状況に陥っており、加えて、森林・林業の担い手である山村は崩壊の危機に立っている。

こうした厳しい現状を踏まえ、昨年公表された森林・林業再生プランに基づき、国民の

期待にこたえていくため、今後、森林整備を着実に推進するとともに、森林の有する多面的機能の持続的発揮を図りながら、森林資源を適切に活用し、森林・林業・木材産業の活性化による山村の再生を図るため、以下の項目を実現するよう要望する。

記。

1、地球温暖化防止・森林吸収源対策を推進するための安定的な財源措置の確保及び森林所有者の植林意欲を高めるための負担軽減措置等による森林経営対策を推進すること。

2、水源の涵養など、森林の有する公益的機能の重要性を踏まえ、森林の取り扱いに関する所有者の責務を明確化するとともに、大面積皆伐の抑制や伐採後に確実に植林する仕組みを構築すること。

3、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の制定を踏まえ、低炭素社会の実現に着目した公共建築物や住宅建設等における木材利用の促進及び木質バイオマス利用など、国産材の利用を拡大すること。

4、持続可能な森林・林業の確立に向けて、森林計画の作成や施業の集約化を担う人材及び現場事業の担い手などの育成確保を図るとともに、森林整備に要する経費の定額助成を実施すること。

5、国民共有の財産である国有林については、公益的機能の一層の維持増進を図るとともに、森林・林業政策の推進に貢献するため、国による一体的な管理運営体制を確立すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年9月17日。

北海道野付郡別海町議会議長渡邊政吉。

提出先ですが、衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、文部科学大臣、経済産業大臣、以上に提出の予定です。

御審議の上、議員各位の満場の御賛同を賜り、速やかに御決定賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 発議第14号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、発議第14号は、原案のとおり可決されました。

ここで、10分間、休憩をいたします。

午前11時00分 休憩

午前 11 時 10 分 再開

議長（渡邊政吉君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

日程第 7 発委第 5 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 7 発委第 5 号道路の整備に関する意見書についてを議題といたします。

内容について、説明を求めます。

総務建設常任委員会委員長。

総務建設常任委員長（池田幸雄君） 道路の整備に関する意見書の内容について、説明申し上げます。

本件は、平成 22 年 7 月 7 日付で、北海道町村議会議長会会長川又博氏からの要請があり、総務建設常任委員会で協議・検討したものであります。

本町の特性である、広大な面積の中で生活する我々にとって、道路は最も重要な社会基盤であり、基幹産業を支えるといった経済活動はもとより、町民の命にかかわる緊急搬送などの手段としても必要不可欠であります。

また、鉄道などの公共交通機関のない本町においては、町民生活や経済・社会活動の大半を自動車交通に依存している実情に加え、圏域間の移動や交通の手段として、高規格幹線道路網の整備は重要な課題の一つでもあります。

こうした中、全国的な景気の後退や税収の落ち込みなど、地方の財政は厳しさを増しており、道路整備に必要な予算を確保するとともに、制度の見直しの際には、地域の自主性を重視した自由度の高い制度とすることが重要であります。

このような状況を踏まえ、慎重に協議・検討した結果、委員全員の賛成をもって、本意見書を提案することになったものであります。

内容説明につきましては、意見書の朗読をもって説明にかえさせていただきます。

発委第 5 号道路の整備に関する意見書。

上記の議案を、別紙のとおり別海町議会会議規則第 14 条第 3 項の規定により提出します。

平成 22 年 9 月 17 日。

別海町議会議長渡邊政吉殿。

提出者、別海町議会総務建設常任委員会委員長池田幸雄。

道路の整備に関する意見書。

北海道は、全国の 22% を占める広大な面積に、179 の市町村からなる広域分散型社会を形成し、道民の移動や物資の輸送の大半を自動車交通に依存しており、道路は道民生活と経済・社会活動を支える重要な社会基盤であるが、冬期の厳しい気象条件に加え、多発する交通事故、自然災害時の交通障害や更新時期を迎え老朽化する道路施設など、道路を取り巻く課題は多い。

また、国土の根幹をなす高規格幹線道路から、住民に最も密着した市町村道に至る道路網の整備は、道民が強く要望しているところである。特に、ミッシングリンクを抱え、全国に比べて大きく立ちおけている高規格幹線道路ネットワークの形成は、圏域間の交流・連携の強化による地域経済の活性化、道民の命にかかわる救急搬送や災害対応といった安全で安心な生活を確保する上での重要な課題である。

こうした中、地方財政は、全国的に景気の後退とともに税収が落ち込むなど、さらに厳

しさを増しており、今後は国と地方の適切な役割分担のもと、道路整備に必要な予算を確保するとともに、国が制度を見直す際には、地方の自主性・裁量性を重視した地方にとって、自由度の高い制度とすることが重要である。

よって、このような状況を踏まえ、次の事項について強く要望する。

記。

1、高規格幹線道路ネットワークの早期形成を図るため、整備中区間の早期供用を図るとともに、抜本的な見直し区間の未着手区間や基本計画区間などについて、早期の事業化を図ること。

2、高度成長期に整備された老朽化した道路施設の長寿命化に係る費用に対する支援の拡充を図ること。

3、冬期交通における安全性の確保、交通事故対策、自然災害時の交通機能の確保など、地域の暮らしを支える道路の整備及び維持に必要な予算額を確保すること。

4、平成23年度から段階的に実施するとされている一括交付金の制度設計の際には、道路整備に関する地域のさまざまな課題に対応できるよう制度を充実するとともに、必要な予算額を確保すること。

5、事業評価に当たっては、地域からの提案を反映させるなど、緊急医療、観光、災害対策など、地域にもたらされる多様な効果を考慮し、総合的な事業評価手法となるよう検討すること。

6、地方の財政負担の軽減に資する地方道路整備臨時貸付金制度の維持・拡充を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年9月17日。

北海道野付郡別海町議会議長渡邊政吉。

意見書提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、以上であります。

御審議の上、速やかに御決定賜りますよう、よろしく御審議のほどお願いいたします。

議長（渡邊政吉君） 発委第5号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

5番瀧川議員。

5番（瀧川榮子君） 質問させていただきます。

意見書の朗読に先立ちまして、説明がなされました。それにおいて質問させていただきます。

本意見書では、高規格幹線道路ネットワークの早期形成を図る、早期事業化を図ることが最重要事項として、要望の第1番目に上げられています。高規格幹線道路のミッシングリンクがあるので、つなぐ必要がある。つながなければ、高規格幹線道路の意味がないということなのだと思います。

ことは、全国で異常気象により、一般道の寸断、浸水など、日常生活に大きな影響を与えました。現存する道路が悲鳴を上げ、崩壊しようとしている場所がたくさんあること。さらに、そうした場所の早期発見など、重要な課題となっていることは、研究者だけではなく庶民も感じていることだと思います。そうした内容が、2番目からの項目でも反映されています。

また、別海町では、海岸線で地震による津波の心配があり、新たな避難道路が望まれます。防風時には、高波で道路までもえぐり取られる状況があり、緊急車両さえ近づけないことになります。生活していく上で必要不可欠な道路さえ十分な整備がなされず、生活者にとって不安な現状が、このままでは続くことになります。

こうした状況の中で、高規格幹線道路の早期事業化を図ることが最も重要な課題なのか、疑問がわきます。委員会の中で、その点について話し合われたことがありましたら、お聞かせください。

議長（渡邊政吉君） 総務建設常任委員長。

総務建設常任委員長（池田幸雄君） ただいま、瀧川議員のほうから、ネットワークという中身も含めた幹線道路という、いわゆる幹線道路だけを充実して、ことしは特にそういった幹線道路以外に、災害時の発生が非常に多いという中身でございます。これもそれもあわせて、そういった田舎、特に別海町もそうですけれども、幹線道路につながる他の地方の道路の整備もあわせて、幹線道路同様に整備をしていただこうと、こういうような理解をして、この意見書を出したことだと思っております。

そういったことで、よろしいでしょうか。

議長（渡邊政吉君） 瀧川議員。

5 番（瀧川榮子君） 大体あれなのですけれども、この高規格幹線道路のミッシングリンクがあるということで、つながっていないので、それをつなげる必要があるということが、かなり重要な位置づけとなって、この意見書の中には書いてあるのですけれども、その位置づけなどについてだけ話し合われたということは、あったでしょうか。

議長（渡邊政吉君） 瀧川議員、質問の意味が。もう一度お願いできますか。

5 番（瀧川榮子君） この幹線道路のミッシングリンクというのは、つながりが途切れているということで、この意見書の中では、特にミッシングリンクを抱えて、それをつないでいくということが重要な課題だということで、強く要望するの記のところに、幹線道路ネットワークの早期形成を図るためということで、早期の事業化を図っていくとあります。これというのは、この意見書の最重要事項の一番目に上げられていると思うのですけれども、下のことについてはさておくとして、このことについて、本当に一番目に、今の現状の中で一番最初に持っていく必要性があったかどうかということについて話し合われたかをお聞きしたいと思いました。

議長（渡邊政吉君） 総務建設常任委員会。

総務建設常任委員長（池田幸雄君） 委員会としまして、この文章を朗読して理解する限り、いろいろな角度からどうのこうのというような、そういったことに意見というのは大してありませんでした。

今言われたように、ミッシングリンク、このネットワークのつながりがないという中身では、先ほど私が申したように、そういう不便な道路を高規格道路につなぐものもあわせて、そういったことがないからそういったものをあわせてやっていくのだよというようなことだと思うのですよ。これで理解できましたでしょうか。

議長（渡邊政吉君） ほかに、今の委員長の意見書の内容説明について、質問はございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、質疑を終わります。

それでは、これから討論に入ります。

まず、原案に反対の方がおりましたら発言を許したいと思いますのですが、ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、発委第5号は、原案のとおり可決されました。

日程第8 発委第6号

議長（渡邊政吉君） 日程第8 発委第6号口蹄疫など家畜の感染症に対する備えを万全にするよう求める意見書についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

産業常任委員会副委員長、福原議員。

産業常任副委員長（福原春夫君） 口蹄疫など家畜の感染症に対する備えを万全にするよう求める意見書の内容について、御説明申し上げます。

本件は、平成22年7月5日付で、根室地方議員連絡協議会会長中司哲雄から要請があり、産業常任委員会で協議・検討したものであります。

ことし発生した口蹄疫は、日本初のワクチン接種を含め、約29万頭の家畜が殺処分され、世界の口蹄疫感染史上4番目となる大規模な発生となりました。このことは、酪農・畜産経営に大打撃と大きな不安を与えたことは言うまでもなく、観光イベントの開催中止など、関連産業を初め経済活動や社会生活に多大な影響を与え、少なからず本町にも影響が及んでいます。

近年、国際化による人の交流や、動物、畜産物などの流通により、動物疾病病原体が国境を越えて伝播する越境性伝染病が頻繁に発生し得る状況であることから、その防止対策を強力に進める必要があり、侵入防止はもとより、再び発生が確認された場合には、速やかな対応が何よりも求められる状況にあります。

このような状況を踏まえ、慎重に協議・検討した結果、委員全員の賛成をもって本意見書を提案することになったものです。

内容説明につきましては、意見書の朗読をもって説明にかえさせていただきます。

発委第6号口蹄疫など家畜の感染症に対する備えを万全にするよう求める意見書。

上記の議案を、別紙のとおり別海町議会会議規則第14条第3項の規定により提出します。

平成22年9月17日。

別海町議会議長渡邊政吉殿。

提出者、別海町議会産業常任委員会委員長戸田憲悦。

口蹄疫など家畜の感染症に対する備えを万全にするよう求める意見書。

ことし、10年ぶりに国内で発生した口蹄疫は、日本初のワクチン接種を含め、約29万頭の家畜を殺処分したことで、世界の口蹄疫感染史上4番目となる大規模な発生となり、酪農・畜産経営に大打撃を与えると同時に、観光イベントの開催中止など、関連産業を初めとする経済活動や社会生活に多大な影響を与えている。

我が国は、島国という地理的条件もあり、口蹄疫については歴史的に頻繁な侵入を受け

ることなく、１世紀余り清浄を保っていたが、近年、国際化による人の交流や動物、畜産物などの流通により、動物疾病病原体が国境を越えて伝播する越境性感染症が頻繁に発生し得る状況である。

現在、アジアの中には、依然として家畜防疫体制が機能していない地域もあって、その地域を中心に、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの悪性感染症が発生しており、その防止対策を強力に進める必要がある。

こうした家畜の感染症にかかわる被害拡大を防ぐためには、侵入防止はもとより、再び発生が確認された場合には、速やかな対応が何よりも求められる。

よって、国においては、常にこうした家畜の感染症の侵入と蔓延防止及び検査体制の充実等、備えに万全を期すなど必要な措置を講ずるよう強く要望する。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

平成２２年９月１７日。

北海道野付郡別海町議会議長渡邊政吉。

意見書提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、内閣官房長官、国家戦略担当大臣、以上であります。

御審議の上、速やかに御決定賜りますようお願いいたします。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 発委第６号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、発委第６号は、原案のとおり可決されました。

日程第９ 議員派遣の件

議長（渡邊政吉君） 日程第９ 議員派遣の件を議題といたします。

内容については、お手元に配付のとおりであります。

お諮りいたします。

議員派遣については、お手元に配付のとおり派遣することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、お手元に配付のとおり派遣することに決定いたしました。

日程第１０ 委員会開催の承認について

議長（渡邊政吉君） 日程第１０ 委員会開催の承認についてを議題といたします。

内容については、お手元に配付のとおりであります。

お諮りいたします。

委員会開催については、委員長申し出のとおり承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、委員長申し出のとおり承認することに決定いたしました。

閉会宣告

議長(渡邊政吉君) 以上をもって、本定例会に付議された案件の審議はすべて終了いたしました。

これにて、平成22年第3回別海町議会定例会を閉会いたします。

閉会 午前11時37分

町長あいさつ

議長(渡邊政吉君) 町長、あいさつ。

町長(水沼 猛君) 閉会に当たりまして、一言ごあいさつをさせていただきます。

まずもって、本定例会の初日に提案をさせていただきました案件24件、並びに本日追加で提案させていただきました人事案件の1件につきまして、速やかに御審議をいただき御決定をいただきました。まことにありがとうございました。

また、平成21年度の各会計決算につきましては、特別委員会を設置して審査をしていただくことになりました。佐藤委員長、瀧川副委員長を初め、委員の皆様におかれましては、大変お忙しい時期を迎えているところでございますが、ぜひ慎重な審査を賜りますようお願いを申し上げます。

今後の日程でございますが、今のところ本定例会で議決を賜りました通学バス、また、除雪機械の購入に当たりまして、議会の議決が必要になりますので、12月定例会前に臨時会の招集を予定いたしております。今のところ、11月の中旬を予定しておりますが、議員各位におかれましては、それぞれ何かと御多忙な次期となります。日程等が決まり次第、案内をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

また、あす、あさって、産業会が開催されます。議員の皆様方もぜひ御参加をいただきますよう、御案内を申し上げます。

また、口蹄疫に対する防疫対策、これらの対応についても御理解と御協力を賜りますようお願いを申し上げます。閉会に当たってのあいさつといたします。

大変ありがとうございました。御苦労さまでした。

議長(渡邊政吉君) なお、議員お皆様には、お知らせ事項があるそうでございますので、若干の時間、議場にお残りくださいますようお願いします。

それでは、管理職の皆様、議員の皆様、どうも御苦労さまでした。

上記は、地方自治法第 1 2 3 条の規定により会議の次第を記載したものである。

平成 年 月 日

署 名 者

別海町議会議長

議 員

議 員

議 員